

# 半導体漫遊記

(35)

## 湯之上隆

半導体大手のエルピ  
ーダが経営破綻した。  
またソニー、シャ  
ー、パナソニックは、  
3社合計で1兆7千億  
円に上る損失を計上  
し、いずれも社長が交  
代した。日本電機産  
業は総崩れとなった。

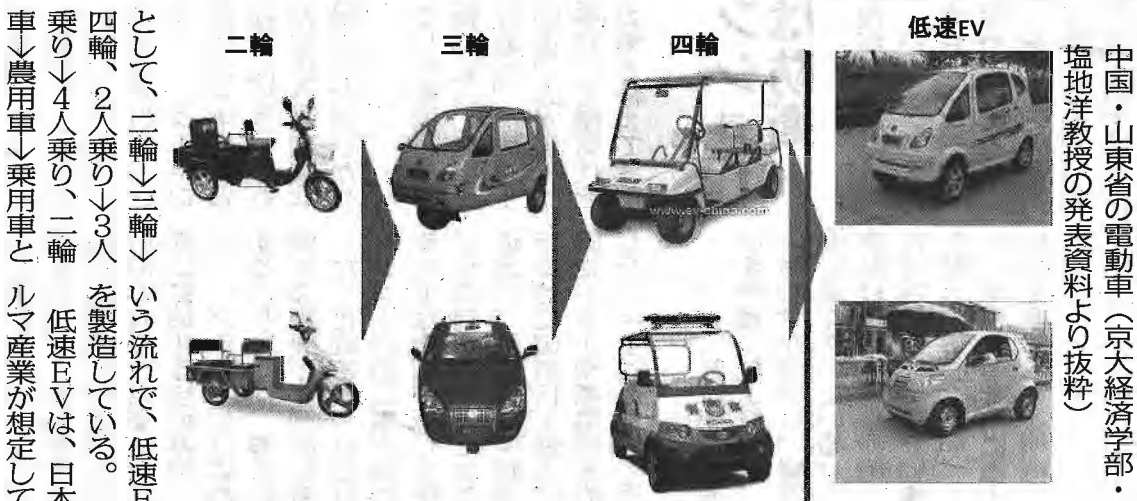
### 日本のクルマ産業大丈夫？

## 低速EV普及の可能性

日本製造業のもう一  
つの柱であるクルマ産  
業は大丈夫なのか？  
現在、数社の調査機関  
によれば、2020年  
には、電気自動車(E  
V)が約20%世界に普  
及すると予測してい  
る。

日本のクルマ産業  
は、ガソリンエンジン  
の技術を中心として現  
在の地位を築いた。と  
ころがEVは、電池と  
なる。

EVは普及するかの開  
発いかんにかかっ  
る。日本のクルマ産  
業はEV化の波に対応  
できるのか？にわか  
不安になってきた。そ  
こで、クルマ産業の  
研究を専門としてい  
る京都大学経済学部  
の塩地教授に、ご意  
見を伺った。そして、  
EVは普及せず、日  
本のクルマ産業は安  
泰じゃないか。必要  
なし、ランニング  
コストはガソリン車  
の10分の1。何より  
50万円と超低価格  
である。中国の山東  
省には低速EVとい  
う流れで、低速EV  
を製造している。低  
速EVは、日本ク  
ルマ産業が想定して  
いない。あー、やっ  
ぱり日本のクルマ産  
業も、心配だ。  
(半導体技術者・社  
会科学者)



中国・山東省の電動車(京大経済学部・塩地洋教授の発表資料より抜粋)

るEVとは、まったく別のクルマである。新興諸国の低所得者層にとっては、初めて手が届くクルマとなる。先進国にとっても、高齢者をはじめとして、「ちょっとそこまで買いもの」に便利なコンビニエンスカーとなる。

山東省の低速EVは、「クルマとは言えない代物」かもしれないが、クルマ業界に破壊的イノベーションを起こす可能性がある。日本がガソリン車並みのEVを追求している間に、世界中が低速EVに占拠されていた、という事態が生じかねない。あー、やっぱり日本のクルマ産業も、心配だ。